

2 自然環境分野 プロジェクト

分野ビジョン

四季を感じられる生駒

～いつでも身近に多様な動植物とふれあえるまち～

生駒市は、西は大阪府との境をなす生駒山系、東は矢田丘陵や西の京丘陵にいだかれ、万葉集でも詠まれた竜田川、天野川、富雄川及び山田川の4つの川の源流を有するなど、自然豊かなまちです。

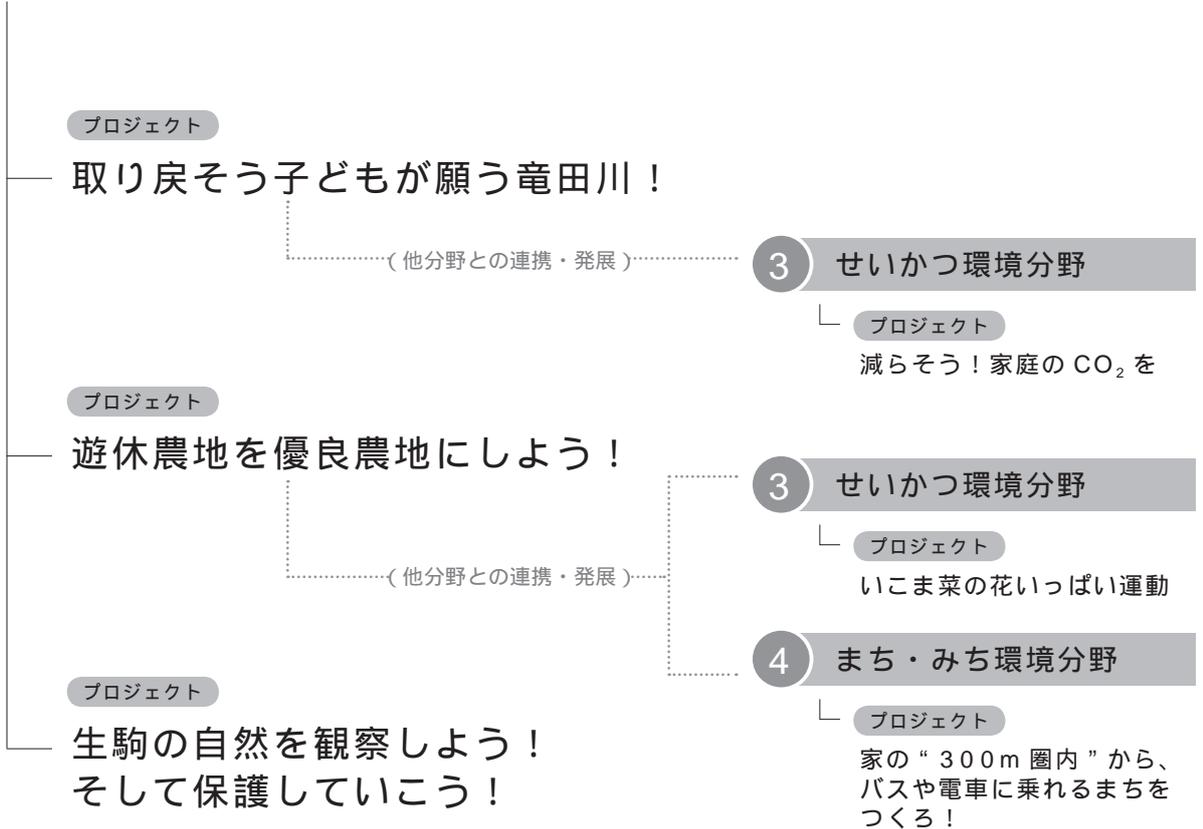
この生駒市には、保全すべき豊かな自然が数多くありますが、市街地の緑の減少、遊休農地の増加、河川の水質悪化などの対処すべき問題も多くあります。

生駒市には平成16年制定の「生駒市緑の基本計画（みどり推進課所管）」があり、「山地・丘陵など山並みの緑」、「河川・ため池など水辺の緑」、「樹林・農地などの緑」及び「公園やまちなかの緑」などの保全や創造のプロジェクトをすすめています。

そのため、環境基本計画の自然環境分野では、「生駒市緑の基本計画」と調整を図るとともに、本計画の他分野（せいかつ環境分野など）とも協力してプロジェクトを具体化し、生駒市の自然環境の保全と創造をすすめていきます。

プロジェクト一覧 / 展開 & 関係

2 自然環境分野



プロジェクト名	取り戻そう子どもが願う竜田川！
ビジョン	魚が気持ちよく泳ぎ、鳥が優雅に遊び、虫の声が心地よく聞こえる。
目的 <small>何のためにする活動か</small>	改善が進まない竜田川を、子どもが願うきれいな川にする。（10年後には、竜田川の水質をBOD値 5mg/l以下にし、'08年度生駒市作成カレンダー「子どもたちから見た川」の絵画・標語作品のような川にする！）
主体 <small>誰がするのか（協力が必要な人・団体も含めて）</small>	計画推進組織（仮称）、地域住民、竜田川を愛する市民・団体、ECOMA、行政（健康課、環境政策課、土木課、竜田川浄化センター、下水道推進課、下水道管理課、水道局総務課、生涯学習課、郡山土木事務所）、第2段階は行政が主体
対象 <small>どのような人、団体に向けた活動か</small>	地域住民、子どもたち
効果 <small>どのような効果や影響が期待できるか</small>	<ul style="list-style-type: none"> 川や川べり、流域道がきれいになり、子どもたちが川遊びしたり、大人や家族連れ、学生たちが流域道を散歩したり、ハイキングしたりして、健康に良い人々の集いの場となる。 水質が比較的良い富雄川、天野川、山田川をよりレベルの高い川にする。

活動内容

第1段階

市民に活動への参加を募り、計画推進組織（仮称）を結成し、以下の活動計画等を検討し実施する。

- (1) 河川愛護啓発絵画・標語の募集
行政にて継続実施、計画推進組織（仮称）は協議・参画する。
- (2) 竜田川のいいとこさがしツアーを行う。
・絵と似た風景さがし
・地図作り 親水場所、植物（木、花など）動物（魚、鳥、昆虫など）名所コース、支流に愛称名を付ける。
- (3) 竜田川今昔物語の作成
・昔……人の発掘、昔話、昔の風景の収集
・今……今頑張っている人の話（竜田川をきれいにするために）、暮らしと竜田川
- (4) エコ料理（廃食用油の回収含む）から排水をきれいにする。
- (5) 行政、団体等の企画する、水質調査、クリーンキャンペーン、エコハイキング等に協議・参画する。
- (6) 家庭排水を簡易に浄化する方法の調査と実験取り組み（例えば、竹炭での浄化など）
- (7) 雨水利用で流量増加
・上流住宅には、雨水タンクを設置してもらい、食器洗浄時に、溜まった雨水を流してもらおう。
- (8) 市民調査の実施（どのような竜田川にしたいか）
- (9) 上記の成果を市民と共有するセミナー、報告会の実施（住民、行政がどう改善していくか）

第2段階

- 1 流量増加作戦を行う（以下の項目等も含めて検討し実行する）。
 - (1) 上流住宅街の道路、歩道を透水性舗装とし保水効果を高める。（メンテナンス時に変えていく。）
 - (2) 雨水貯水池を作り、溜まった雨水を食器洗浄時に流す。
- 2 下水道の普及率アップ作戦を行う。また、合併処理浄化槽設置（下水道認可区域外）の一層の促進を図る。
・上流地域に重点投資し、住民の協力も得て、下水道の普及率アップ等を図る。

課題

- » 排水の浄化効果を把握できるような活動を広め、家庭排水をきれいにする。
- » 川にもっと水を増やす。

問題

- ・家庭排水による源流部からの川の水質の悪化
- ・宅地化などの開発により、土地の保水力が減少し、川の水量も少なくなっている。

竜田川



宝山寺川



河川愛護啓発絵画
「こどもたちから見た川」



河川敷の美化清掃と花の育成活動



東生駒川のアジサイ



富雄川のオミナエシ



富雄川の菜の花



富雄川のコスモス



竜田川の桜



10年後の生駒

魚が気持ちよく泳ぎ、鳥が優雅に遊び、虫の音が心地よく聞こえる。



BOD（生物化学的酸素要求量）：河川の有機物による水質汚濁の指標の代表的なもの
ECOMA：生駒市環境地域協議会「ECOMA」（通称 ECOMA）27 ページ参照

プロジェクト名	遊休農地を優良農地にしよう！
ビジョン	農地はすべて作物であふれ、子どもたちから大人まで、土に親しみ花や食物を育てている。

目的 <small>何のためにする活動か</small>	地産地消の拡大（菜種油、黒大豆、旬の野菜等） 昔の田園風景の復活
主体 <small>誰がするのか（協力が必要な人・団体も含めて）</small>	計画推進組織（仮称）、農業者、農業に興味のある市民・団体、家庭菜園を推進する団体、行政（環境政策課、環境事業課、衛生処理場、産業振興課、農業委員会事務局）
対象 <small>どのような人、団体に向けた活動か</small>	農業者、農業に興味のある市民・団体、家庭菜園を推進する団体
効果 <small>どのような効果や影響が期待できるか</small>	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の拡大を防止し、減少させて、農地の荒廃を防ぐ。 景観の保全 菜の花プロジェクトによるCO₂の削減

活動内容

市民、団体に活動への参加を募り、農家の方、農協の応援を得て計画推進組織（仮称）を結成し、以下の活動計画等を検討し実施する。

- 1 特定農地貸付法による遊休農地の仲人制度などを検討し、下記のようなことを順次行い、農家と非農家とのマッチングを図る。（現在の市民農園は継続）
 - （1）行政による遊休農地の把握
 - （2）遊休農地を利用したい、作業ボランティアしたい人及び団体の募集
 - （3）農家と利用者・協力者の仲介
- 2 せいかつ環境分野 「いこま菜の花いっぱい運動」（廃食用油の回収運動強化含む）との協働
- 3 地元特産品の拡大
 - （1）黒大豆の作付けの推進
 - （2）その他特産品発掘し推進
- 4 コメ、野菜等を作り地産地消する人・自給率アップを図る人を増やす。
- 5 農業体験プロジェクトの推進
 - （1）農作業（耕起、野菜づくり、田植え、稲刈り等）を通して農業体験する。
 - （2）菜の花の播種、収穫等
 - （3）生ごみを使った有機肥料の作り方（資源の循環とごみの減量化を図る。）

課題

- » 遊休農地の減少を図る。
- » 市民が関わる農園を増やす。

問題

- ・ 高齢化等による遊休農地の増大や竹林の侵食。

高山町の黒大豆畑



西畑町の棚田



地元野菜の青空市場



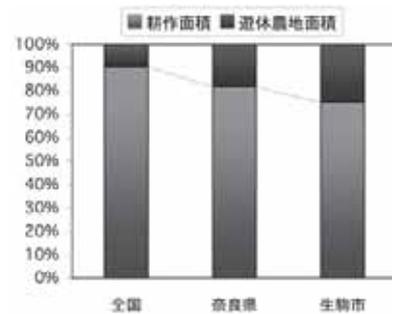
地元野菜の直売コーナー



市民農園



遊休農地面積比較



資料：農林水産省「農業センサス」



10年後の生駒

農地は全て作物であふれ、子どもたちから大人まで、
土に親しみ花や食物を育てている。

プロジェクト名	生駒の自然を観察しよう！そして保護していこう！
ビジョン	自然に親しみ、自然の仕組みや人とのかかわりの理解が広がり、生駒のすばらしい自然が守られている。
目的 <small>何のためにする活動か</small>	<ul style="list-style-type: none"> 生駒市内の自然環境（動植物の生育状況）を把握する。 生物多様性が失われる速度の現実を把握し、保全について考える。
主体 <small>誰がするのか（協力が必要な人・団体も含めて）</small>	計画推進組織（仮称）、自然環境観察に興味ある市民、学校、行政（環境政策課、産業振興課、みどり推進課、教育総務課、教育指導課）
対象 <small>どのような人、団体に向けた活動か</small>	市民、学校、行政
効果 <small>どのような効果や影響が期待できるか</small>	<ul style="list-style-type: none"> 市内に生息する動植物種がわかり、珍重種が発見されるかも。 自然に関心を持ち、親しむ人が増える。

活動内容

市民に活動への参加を募り、計画推進組織（仮称）を結成し、以下の活動計画等を検討し実施する。

- 1 調査
 - (1) 身近な生き物調査（居住区の近くにエリアを決めて行う）～学校校区単位、自治会単位等
 - (2) 指標生物を決めて調査
- 2 学習会、講座などの開催
 - (1) 生き物学習会の開催
 - (2) リーダーを育成するための講座開講
- 3 情報の収集と取りまとめ
 - (1) 自然環境保全上重要な情報について、GIS として取りまとめる。
 - (2) 生態系の概要をまとめる。（生き物マップの作成）
- 4 成果を生かす活動
 - (1) 絶滅種・希少種の保護
 - (2) 奈良県レッドデータブック調査への参加
 - (3) 生駒市の環境白書「生駒市の環境」、市政だより、市ホームページに掲載
 - (4) 環境フェスティバルへの参画

組織づくり案

- (1) 興味ある分野ごとに部会を作る。（例：植物部会、昆虫部会、野鳥部会、動物部会、水もの部会など）
- (2) 他の NPO 等の団体と連携をとる。
- (3) 学校のクラブとの連携をとる。
- (4) 地域の専門家の呼び込みと個人レベルの調査で協力してくれる人を募集する。

GIS (Geographical Information System): デジタル化された地図 (地形) データと、統計データや位置の持つ属性情報などの位置に関連したデータとを、統合的に扱う情報システム

課題

» 今ある自然を大切にする
(どの自然がなくなりつつあるか調査する)

問題

- ・ 田畑や樹林地、古木などが減少している。
- ・ 宅地化や開発、里山里地の荒廃、遊休農地の増大

水生生物調査



メダカ



カスミサンショウウオ



イモリ



クサガメ



ツチガエル



ヌマガエル



ニホンアカガエル



植物調査



ヒメウラジロ



昆虫調査



オオムラサキ



写真は、平成 20 年度 生駒市自然環境調査から



10 年後の生駒

自然に親しみ、自然の仕組みや人とかかわりの理解が広がり、
生駒のすばらしい自然に守られている。